

第1回三沢市協働のまちづくり推進懇話会概要

日 時：平成25年7月5日（金）18時30分～20時10分
場 所：市民活動ネットワークセンターみさわ

次 第

1. 開会

2. ♣出席者（6名）

名久井 正廣（ファシリテーター）

宮古 博之（企業代表）

吉家 裕行（市民会議の時代から参加）

小比類巻 隆（一般公募）

金淵 恵（一般公募）

福澤 定岳（一般公募）

♣事務局（3名）

内野補佐、吉田係長、細田主査



3. 今回の検討事項

①平成24年度ネットワークセンター利用状況について

☆事務局説明

（資料1：利用状況）

- ・印刷機→安くて使いやすいと好評。
- ・パソコン→ネット検索のみのため、件数は伸び悩んでいるが、増えてくるとウィルス対策等のメンテナンス的に不安要素がある。利用件数は、ほぼ平年並みで推移。長期的な目で見ると、買い替えなどが必要。

- ・ **交流スペース** → コーヒーなどを飲めるようなくつろげるスペースにしてほしいとの要望が女性から出ている。
- ・ **集会室** → 1階の右奥の部屋だが、連合町内会や基地周辺町内連合会が独自で管理して使用しているため、今後、指定管理等になっていくときの課題となってくると思われる。
- ・ **会議室** → 問題点は特にないが、利用人数を見ながら事務員がうまく調整している。利用人数は横ばい。件数が増えているのは、同じ人がパソコンを利用したりしているということが多くなっている。利用される時間帯は午後が多く、時期としては総会が行われる5月、2月、3月が多い。

(資料2：会議室利用団体)

- ・ 同じ団体が偏って使っている傾向。
- ・ 団体登録しているか否かに関わらず利用して頂いている。また、働く婦人の家や中央社会福祉センター等、無料で使える所などと連携し、会議室が埋まっている場合は断るのではなく、そちらを案内するように指導していく。

(資料3：利用団体登録簿)

- ・ 3月末で68団体。規則上1年更新のため、4月1日時点で58団体が更新している。今後は、会議室を使用している団体にお知らせを出すなどして登録団体を増やしていく予定。
ネットワークセンターの利用状況についての報告は以上。

☆意見交換

委員A：そだなす館になってから、それまで使っていた団体からクレーム等はなかったか？

事務局：1階に借りられるスペースがあればいいという意見や、駐車場が狭いとの意見があった。

委員C：パソコンから直接印刷できないのは不便ではないか？

事務局：メモリースティックでの印刷をお願いしている。

委員C：パソコンを自分で持ってきて使う人はいるか？

事務局：自分でパソコンとプリンターを持って来て使用する事は問題ないが、USBを差せる有料のコピー機による印刷が出来る旨の案内を行っている。もし指定管理になると、運営をしていかなければならないので、全部無料というわけにはいかないという事を、少しでも植えつけておかなければいけないと考えている。

委員C：自分でパソコンを持ってきてもいいように建物全体でWi-Fi環境を整えておけば、パソコン自体の利用者については利便性があがるのではないか？

事務局：メンテナンス出来る人を配置しなければならないため、難しい。

委員長：航空科学館も公共エリアでWi-Fiを使えるようにしたが、基本料金が発生する等の負担がある。ネットワークセンターは

登録団体の中で協議会を作り、その中で運用を考えて行こうという方向が出ていたので、利用団体の中で多少の持ち出しをしながら、公共の分に関して折半するという考え方もあると思う。

事務局：光熱費や燃料のデータは取っているが、特に暖房代が高い。また、ストーブが老朽化しているため、そういった部分も含めるといろいろ手をかけなければならない。

委員長：指定管理をやっていて一番苦勞するのがその部分。灯油代も電気料も上がっているが、不足分を出してはもらえない。将来的に指定管理等へのスムーズな移行を見据えて、必要最低限の経費がいくらかかるのか、今の内から光熱費などのデータを取っておく必要がある。

委員長：資料にある夜間とは何時からか。21時にはもう施錠して、誰もいない状態というのが条件だった。

事務局：夜間とは17時から21時。21時の施錠に関しても、事務員が説明して、時間までに終了している。問題があるとすれば飲食についての線引きが曖昧な状態。お弁当程度はいいが、「昼食会」目的というのをご遠慮いただいている。

委員D：利用状況のうち、何曜日が多い？

事務局：金曜や土曜の午後が多い。今後、曜日別のデータも出せるようにする。

委員C：指定管理になった時には、通年で開館出来るようになるのでは。

事務局：指定管理になれば通年の開館は可能。





✿なごやかな雰囲気の中、話が弾みました。

②平成25年度協働のまちづくり市民提案事業について

☆事務局説明（資料4及び広報みさわ7月号参照）

- ・この事業は平成21年から行っており、今年度から1千万の予算で実施している。金額が増えたものもあり、審査員も6名から11名に増員して審査を行っている。
- ・今年度は17団体が事前の相談に訪れ、10団体が申請。5月末に行ったプレゼンの結果全て採択となり、現在様々な事業が展開されている。現在は2次募集実施中。

☆意見交換

委員長：自治会単位の応募がない。現状は、いわゆるNPOとかでないとならない。より多くの応募をしてもらうために、ネットワークセンターを積極的に利用するなどしてはどうか。事前の相談を取入れたのはすごくいいが、市役所は入りにくい。

事務局：弘前では、20万以下はプレゼンなしでよいとなっている。町内会の方はプレゼンをすることに慣れておらず、難しいので、我々もその部分は検討していく。

委員D：以前、米子で担当していたときは、コースが分かれていて、毎年同じ事業ではダメとしていた。途中から全額補助を作ったら、応募件数が増えた。

事務局：今年スタートアップ事業をやめたが、必要性を感じるので、来年度は検討する。

委員長：限られた予算の中で、広報費がすごくかかるため、本来やりたいことにお金が回せない。10ある団体がそれぞれ広報しなければならない。そこで、より広く周知するため、広報広聴課で無料枠みたいなものを作って、マックテレビで流すサービスがあってもいいと思う。行政がある程度の所までやってあげるのも一つ。また、公共施設のエリアに市民提案事業のポスターを張るスペースを作るなどすれば、わかりやすい。

事務局：その作業が広報課に集中するのはよくないと思う。仕事が増えるという意味ではなく、市役所の各担当課に協力することを

知って欲しいということで、申込み用紙の中に、一緒にやる課を書く覧を加えた。それがちょっとずつ浸透していけばいいなと思っているが、まだ最初の段階。将来的には各課でやっていけるように持っていくようにしたい。スタートの部分で市民提案事業の枠を示していくというのはすぐ取りかかれると思う。

委員長：効果を高めるため、事業終了後、報告会を実施して対費用効果などを見ていくことで、市民のコンセンサスを得られるし、そこに共感する人も増える。

事務局：時期は未定だが集まって報告会を開催したい。担当や協力課、審査員はもちろんだが、懇話会の皆さんにも声をかける予定。応募したいと思っている人たちにも見てもらえれば参考になる。

委員C：ボツになった団体の中で、組み合わせたらいいと思うような提案はあったか？

事務局：ある団体は相談に来たが、方向性が定まっていなく、経験もなかったため、よく話し合いを行った上で見送った。ここは若いお母さん方の団体で、最終的には託児所を作りたいという考えがあったので、そことレゾナンスやアートプロジェクトと結び付けられそうだと考えている。今後は2次募集などで声をかけていく。結びつきはいらぬ、自分達だけでやるという団体さんもいたが、地元や地域と絡んでもらわないと意味が無い事業なので、こちらも見送らせていただいた。ここを相談場所にするというのは考えていきたい。町内会は新しい事を考える事が不得意なので、こういうことはできますよ、という提案が必要かもしれない。

委員長：手助けがないから市民提案事業に来たのかもしれない。担当が違っていても、庁内のお知らせに流すなどすれば、どこかで解決できるかもしれない。助成金はいかに使うか、見つけるのが大変。そういう意味から行けば、たくさんある助成金の中でも、市民提案事業は入りやすい事業。

事務局：各種の助成については、予算時期にはまらないと難しい問題がある。市民提案事業はプレゼンという障壁があるため、書類を簡単にするにはどうすればいいか、いかに使いやすくするかをやりながら変えていくのが我々の役目。各課と一緒に何かをやっていくか、というところまで協働によるまちづくりが浸透していけば、それぞれの事業にマッチしていく。お金を渡して終わりでは、協働の意味がない。各課との連携を深めて浸透させるモデルとして広報広聴課ではレゾナンスを取上げて、やりながら協働のやり方を勉強していく。

③その他

☆事務局より、協働推進系の業務説明

24年度実施事業（資料参照）

- ・ 市民活動ネットワークセンターみさわ利用団体意見交換会
→ 3日間で12団体と少なかったが、今年は団体の意見を聞けるような、アンケートの実施を検討。
- ・ 協働のまちづくり職員研修会
→ 主事・主査対象
- ・ NPO活動推進講座
→ NPO団体所属の方を対象
- ・ 地域リーダー人材育成セミナー（3回開催。地域のリーダーを育てる）
→ 市民全般対象
- ・ 男女共同参画職員研修
（講師は第2次ハーモニープラン作成時のアドバイザー）
→ 係長級対象
- ・ まちきらきらセミナー
（5回開催、1回目の講師は大間エスコートクラブ蛭子良子氏、それ以降はNPOサポートセンター所長田中弘子氏）
→ 市内在住・在勤の女性対象

25年度実施事業（資料参照）

- ・ 協働のまちづくり職員研修
→ 日程、場所、講師は検討中。
- ・ NPO活動推進講座
→ 話し合いのリーダーとなるファシリテーター育成を予定。
- ・ 地域リーダー人材育成セミナー
→ 昨年と同じ講師に依頼済み。セミナーが終わった後、受けた方々が市民提案事業への応募につながる様な時期の設定を考えている。
- ・ 男女共同参画職員研修
→ 補佐級を対象とする予定。今年度、三沢市が上十三地域ネットワーク会議の事務局となっているつながりで、男女共同参画センターの副館長に講師を依頼している。
（10月2日に女性の視点から見た避難所作りを行う予定。）
- ・ まちきらきらセミナー
→ 今回も田中弘子先生に来ていただき、女性のネットワーク作り、そして市民提案事業への応募につながればいいと考えている。

☆最後に

次回以降の日程について

- ・ 2カ月に1度くらいのペースで情報交換ができればいいと思うので、

そのように進めていくことにする。

- ・第3水曜日をベースにして、次回は9月18日(水)を予定。

4. 閉会